

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月28日作成

事業番号	006374	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	美術館運営委託事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P137 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	II 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	美術館業務の一部を委託し、美術館運営の効率化を図る。								
対象	観光客及び町民								
内容	美術館における学芸業務の一部及び喫茶室管理運営業務を、(有)コミュニティサービスに委託する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	3,882,600	8,899,466	9,355,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	3,882,600	8,899,466	9,355,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	3,882,600	8,899,466	9,355,000		
	財源合計	3,882,600	8,899,466	9,355,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
現代作家展		地元作家の紹介	回	3	3	5
喫茶室営業日数		喫茶室営業	日	6	312	312
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
総入館者数		事業の成果	人	18,675	20,989	25,000

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町が運営する美術館及び付帯施設の業務のため
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 専門的な学芸業務や管理運営業務を委託することにより、人件費が抑制でき効率的な運営ができる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 展覧会企画や教育普及活動、専門的な店舗経営を委託することで、円滑な運営ができる。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 広く観光客及び町民を対象としている。
平成29年度までの自己評価または改善点	美術館事業の円滑な運営に効果があった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	9
平成30年度の見直し及び改善(実績または予定)	美術館の運営管理については、学芸業務等実績をあげていることから継続して委託をする。平成30年4月から委託となった喫茶室管理運営については、効率的な業務を検討していく。
平成31年度以降の方向性	同上

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	喫茶室の管理運営については、経営状況や活動実績を検証し、委託業務の形態を検討していく。
------	----------	---

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

カフェのリニューアルを受けて採算性を向上させる必要がある。
-------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)
------	----------

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	006378	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	展覧会開催事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P137 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	II 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	湯河原に残された文化遺産を後世に伝える役割を担いながら、観光客や町民が湯河原の魅力を感じられるよう、美術資料を活用した展覧会を企画する。また、生涯学習施設として作家展や講座などの充実に努めるとともに、学校と連携して児童生徒の教育支援を行う。								
対象	観光客、町民及び児童生徒								
内容	平松礼二館では、「湯河原十景完成記念特別展」及び企画展2回を開催する。常設館では年4回のゆがりの作品を展示する他、現代作家展を開催する。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	3,464,975	6,728,915	7,846,000		
	人件費					
	常勤職員	4,203,600	4,371,786	4,500,000		
	非常勤職員等	6,042,540	6,755,287	7,120,000		
	人件費合計	10,246,140	11,127,073	11,620,000		
	総事業費	13,711,115	17,855,988	19,466,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金	363,930				
	地方債					
	その他特定財源			781,000		
	一般財源	13,347,185	17,855,988	18,685,000		
	財源合計	13,711,115	17,855,988	19,466,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
平松礼二館・常設館企画展		展覧会開催	回	4	4	4
特別展		展覧会開催	回	1	1	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
総入館者数		事業の成果	人	18,675	20,989	25,000

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	4	町所有の美術品及び借用品のため、直営が望ましい。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4	人件費、必要経費を勘案すると採算性は低いといえるが、文化及び観光への貢献度は高いと考える。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	3	資料を活用した展示及び関連した教育普及活動を行った。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4	美術館の活動を広く一般に公開している。 また、町民料金を設けることにより、町民に安価で公開している。
平成30年度までの自己評価または改善点	事業を計画通り実施した。		

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2 町所有の美術品及び借用品のため、直営が望ましい。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	特になし
令和2年度以降の方向性	美術館の主要事業であるため、現状維持とする。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	美術館の主要事業であるため、現状維持とする。
------	----------	------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

特になし
------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	006405	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	アトリエ公開事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P137 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	II 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	子供たちの情操教育や町民の生涯学習に寄与するとともに、観光客の誘致を図る。								
対象	観光客、町民及び児童生徒								
内容	美術館内に設けた「平松礼二アトリエ」を公開し、併せて平松礼二名誉館長によるアトリエ案内や学芸員による解説を行う。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	9,797,724	954,790	1,193,000		
	人件費	2,802,400	1,457,262	1,500,000		
	非常勤職員等	858,240	1,688,822	1,780,000		
	人件費合計	3,660,640	3,146,084	3,280,000		
	総事業費	13,458,364	4,100,874	4,473,000		
財源内訳	国庫支出金	3,826,370				
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	9,631,994	4,100,874	4,473,000		
	財源合計	13,458,364	4,100,874	4,473,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
平松画伯によるアトリエ案内		事業に関するイベント開催	回	40	32	40
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
アトリエ案内参加者		イベントの成果	人	514	404	500

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	4 美術館内の施設であり、町が実施することが望ましい。
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	3 施設整備に経費がかかっているが、事業の独自性が高く、効果が得られている。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	4 来館者へのアトリエ案内や小中学生のアトリエ訪問などを実施し、効果を上げている。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	4 入館者は見学自由としている。
平成30年度までの自己評価または改善点	新規事業として、独自性や話題性があり、誘客効果及び生涯学習へ効果があった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	事業の性質上、町の事業として実施することが望ましい。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	「湯河原十景」完成後もアトリエ公開を継続するため、現状維持とする。	
令和2年度以降の方向性	同上	

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	誘客効果、生涯学習へ貢献している。
------	----------	-------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

温泉場エリアを一体とした施策の展開が重要となるが、前段として「アトリエ公開」の標準化が必要。
--

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--

令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	008043	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	収蔵品等データベース化事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
P137 ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	II 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1貧困	2飢餓	3保健	4教育	5ジェンダー	6水・衛生	7エネルギー	8経済成長と雇用	9インフラ等
	10不平等	11都市	12生産と消費	13気候変動	14海洋資源	15陸上資源	16平和	17実行手段	該当なし
目的	収蔵作品の基礎データ及び画像データを整理し、収蔵品管理システムにより一括管理する。								
対象	美術館利用者								
内容	データベースを整理し、作品情報や解説を作成するなど内容を充実させる。								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	0	3,370,390	0		
	人件費					
	常勤職員		2,914,524	3,000,000		
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	2,914,524	3,000,000		
	総事業費	0	6,284,914	3,000,000		
財源内訳	国庫支出金					
	県支出金					
	地方債					
	その他特定財源					
	一般財源	0	6,284,914	3,000,000		
	財源合計	0	6,284,914	3,000,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
作品データ入力			点		1,400	1,400
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
作品データの構築		基礎データの完成	件		1	1

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)			
必要性	町が実施する必要があるのか	5	町所有の美術品及び平松礼二館寄託品のため
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	5	基礎データをデジタル化することにより、有効活用が可能となる。
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5	基礎データのデジタル化を完了した。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3	基礎データのため、直接的には影響が少ない。

平成30年度までの自己評価または改善点	寄贈寄託作品をデータベース化し、基礎データを構築することができた。
---------------------	-----------------------------------

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)	
委託・指定管理導入の可能性	2 町が所有する美術品のため、直接管理が望ましい。
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	令和元年度は、データベースの整理とソフト面の充実を図る。
令和2年度以降の方向性	データベースをもとに、WEB公開などを検討する。

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(拡大)	データベースを活用した事業を展開する。
------	--------	---------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

データベース化を図ることで、美術館間の交流を広げること特別展等に集客性を高める必要がある。
---

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(拡大)	
------	--------	--



令和元年度事務事業評価シート

令和元年6月 日作成

事業番号	008044	担当課等	社会教育課 美術館							
事務事業名	美術館施設整備事業									
予算科目コード	会計	01	款	09	項	07	目	04	事業開始年度	平成 30 年度

1 事業概要(令和元年度)

総合計画との関係	基本目標	政策	分野	主要施策	細施策				
ゆがわら2011プラン 後期基本計画	4 生涯を通じて学び豊かな心を育むまちづくり	II 文化芸術の振興	1 文化芸術	(2) 町民文化芸術活動の支援	② 美術館の充実・活用				
関連する個別計画									
SDGsとの関連	1 貧困	2 飢餓	3 保健	4 教育	5 ジェンダー	6 水・衛生	7 エネルギー	8 経済成長と雇用	9 インフラ等
	10 不平等	11 都市	12 生産と消費	13 気候変動	14 海洋資源	15 陸上資源	16 平和	17 実行手段	該当なし
目的	美術館のイメージアップや環境改善のため、美術館施設の整備をする。								
対象	美術館利用者								
内容	高压引込ケーブルの改修工事								

2 実施結果

(単位 円)

区分		平成29年度(決算)	平成30年度(決算)	令和元年度(見込)		
コスト	事業費	155,755,656	6,137,360	1,584,000		
	人件費					
	常勤職員					
	非常勤職員等					
	人件費合計	0	0	0		
	総事業費	155,755,656	6,137,360	1,584,000		
財源内訳	国庫支出金	68,694,863				
	県支出金					
	地方債	64,500,000				
	その他特定財源					
	一般財源	22,560,793	6,137,360	1,584,000		
	財源合計	155,755,656	6,137,360	1,584,000		
活動指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
施工件数			件	6	2	1
成果指標		指標設定の理由・考え方	単位	平成29年度	平成30年度	目標値
総入館者数		事業の成果	人	18,675	20,989	25,000

3 平成30年度までの事業分析及び改善点

評価 5段階とその理由を記入(5:高い 4:やや高い 3:普通 2:やや低い 1:低い)		
必要性	町が実施する必要があるのか	5 町所有の施設であるため
効率性 類似性	投入した費用に見合った効果が得られているか 他事業との類似はないか	4 環境が改善された
有効性	事業の目的に対して成果が得られているか	5 新たな施設の開設により、イメージアップを図ることができた。
公平性	事業の目的に対して受益の機会が均等か	3 美術館利用者が対象のため
平成30年度までの自己評価または改善点	庭園入口、ミュージアムショップリニューアル等施設を改修し、環境改善やイメージアップに効果があった。	

4 見直し及び改善

評価 4区分とその理由を記入(1:可能 2:どちらともいえない 3:不可能 9:既に実施済み)		
委託・指定管理導入の可能性	2	町所有の施設であるため
令和元年度の見直し及び改善(実績または予定)	建物が老朽化しているため、引き続き必要な部分の改修を検討したい	
令和2年度以降の方向性	同上	

5 一次評価(令和2年度以降の方向性に対する評価)

総合評価	継続(現状維持)	環境を維持するため、継続して必要な整備を行う必要がある。
------	----------	------------------------------

6 財政・計画推進の視点からの所見(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

公共施設等総合管理計画に基づいた個別施設計画の策定を進める必要がある。
-------------------------------------

7 二次評価(※各課等は記入不要です。空欄のまま提出してください。)

総合評価	継続(現状維持)	
------	----------	--